

公安警察による不当な家宅搜索を許さない



強制捜査にきた公安警察(10月1日)

広島大学の、すべての皆
さん。
昨日(10月1日)人び
との思想・信条を取り締
まる政治警察Ⅱ警視庁公
安部が、サークル関係者
への連絡もなしに、文化
系サークル棟の家宅搜索
を行いました。“9月28
日と30日に「監禁致傷」
容疑で全学連の4人が逮
捕された事件に関連して
の家宅搜索”と言われて
います。しかし4人への
逮捕も、ましてや広大へ
の家宅搜索も、公安警察
による“でっち上げ”で
あり、戦争法の強行採決
と一体の国家による許し
がたい政治弾圧です。

4人の即時釈放を求め
ると同時に、大学を戦争
遂行機関に変えようとし
ている安倍政権との闘い
に、広島大学から共に立
ち上がることを呼びかけ

不当逮捕の4人 を取り戻そう

「監禁致傷」の被害
者」という元福島大生は、
2012年から約3年に
わたって全学連にスパイ
として潜り込み、そこで
得た運動の情報を公安警
察に提供し、その見返り
に数十万、百万円の金銭
を受け取り、酒食・享楽
に換えてきた男です。そ
のことが発覚し、仲間に
対し真実を明らかにする
よう求められて逃走。建
物の屋上から落下して怪
我を負ったことが今回

「犯罪」とされているの
です。2011年福島原
発事故以降、多くの人々
が「もうだまされない」
と政府・東京電力との闘
いに立ち上がっていく中、

元福島大生の男は
自らの欲望のため
に他人をだまし、
売り渡していたの
です。人間として
最低の行為だと言
わざるを得ません。
しかも上述したよ
うに、スパイ行為
が発覚し追放され
たにもかかわらず、
そのことを開き直

り、公安警察と一体となっ
て今回の弾圧に「被害者」
として加担しているのだ
す。

しかしもちろん、最も
許せないのは公安警察で
す。カネ・モノで人間を
墮落させ、自らの手先と
して利用する。あらゆる
社会運動が“札束でほっ
ぺたをひっぱたいて言う
ことを聞かせる”という
姑息な手法との対決であ
ることは、反基地闘争や
反原発闘争の歴史が示す
通りです。私たちはこん
な卑劣な弾圧を絶対に許
しません。

広大への搜索は 戦争法の発動

安倍政権が安保関連法
を強行し、戦争へ突き進
もうとするこ

の時代だから
こそ、国家権
力の弾圧を共
に打ち破って
いきましよう。

昨日は安倍
政権が強行採
決した安保関
連法の公布日
であり、新し
く「防衛装備
庁」が発足し

広島大学学生自治会
連絡先 hirodai86@yahoo.co.jp

た日でもありました。安倍政権の戦争政治の一環として、広大への家宅捜索が決行されたのです。

「防衛装備庁」は、武器の海外販売や国際的な共同開発・生産を行うために、安倍政権のもとで新設されました。これを後押ししたのは、三菱重工をはじめ、名だたる製造業の大企業です。安倍政権に武器輸出を国家戦略として推進すべきだ」と提言するくらい、彼らの金儲けは破綻しています。こういう連中が“延命のためなら手段を選ばない”と、この夏安保関連法の制定にもつつこんできました。

これに対し、私たちは広島大学の中で大学の戦争協力」を問い、闘い続けてきました。

三菱重工は広大の経営協議会に居座りつつ、安倍政権の戦争政治を支えてきました。しかしいよいよ安保関連法に抗議した1000万人のうねりが、職場・キャンパスから戦争協力拒否」のストライキとなって爆発してい

たのです。今回の政治弾圧の根本にあるのは、命がけで戦争反対の行動立ち上がった1000万人の人びとへの恐怖でしかありません。権力の凶暴さは、実は支配の弱さの裏返しでしかないのです。

弾圧を団結に変え前進しよう

2013年に再建した広大自治会運動の歩んだ道のりは、決して平坦ではありませんでした。再建運動の先頭に立った百武君（現委員長）に対し、不当逮捕、その後広大当局による不当な懲戒審査、停学・退学処分のため（など、連続的な弾圧との闘いでした。しかし、キャンパスから百武君への処分阻止を求めるメッセージカードや、処分阻止のクラス決議が次々と寄せられ、学生の団結した力が処分できない力関係をつくり上げました。このようにして自治会運動は前進してきたのです。

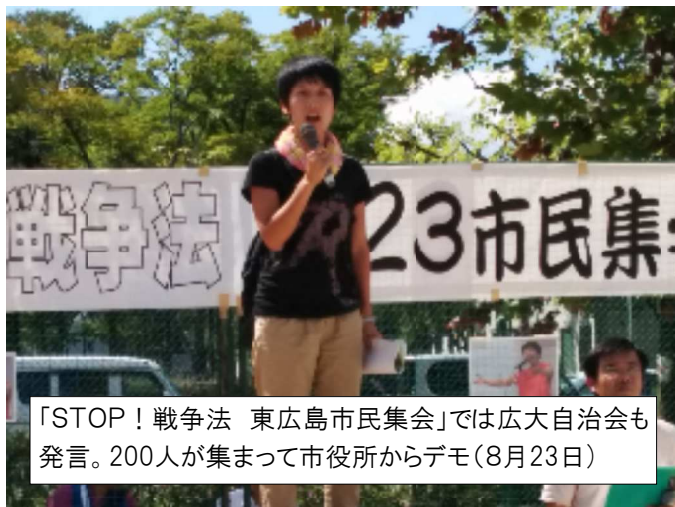
くところ
に差
し掛
かつ

どんな弾圧にも負けない団結こそ、実際の戦争を止められる力です。弾圧を団結の糧にして、最強の団結Ⅱストライキによる戦争協力拒否の闘いを貫き、広島から戦争政治に断

を下して行きましよう。



「誰の子どもも殺させない」。安保関連法に反対してママたちが呼びかけたパレードに350人が参加。(8月30日)



「STOP！戦争法 東広島市民集会」では広大自治会も発言。200人が集まって市役所からデモ(8月23日)

★ミニ学習会（関心のある方は誰でも参加できます）

【テーマ】弾圧に対する自治会の見解、この夏の安保国会攻防のまとめ

日時 本日(10/2 16:30～)

会場 学生プラザ1Fにて